

まちの話題



夜空を焦がす万灯さんの幻想的な炎

幻想的な灯火 三宅区の伝統行事・万灯さん

8月24日、三宅区に伝わる伝統行事・万灯さんが行われました。万灯とは、一般的に火の神様に数多くの灯火を捧げ、五穀豊穡や地域の安全を願うものと言われています。

午後7時30分、サイレンの合図とともに、区の向かいにある万灯山の稜線に据えられた万灯と呼ばれるわらの束に一齐に点火。夜空に八の字の稜線が浮かび上がりました。

また、子どもたちが万灯を振り回す「振り万灯」も披露。ふもとの区民らは、幻想的な灯火を見守りました。

北の大地・北海道で貴重な体験 ちびっ子親善使節団が北海道留寿都村を訪問

昭和56年、但馬牛が取り持つ縁で旧養父町と北海道の留寿都村が姉妹提携を締結し、さまざまな事業を通じて交流を深めてきました。合併後も提携は継続され、今年も7月26日から29日、市内小学生25人が「ちびっ子親善使節団」として同村を訪問しました。

使節団一行は、留寿都村で牧場の見学や陶芸などを体験。また、小樽運河や札幌の大倉山ジャンプ台、時計台なども見学し、北海道の文化や風土を学びました。

また、8月1日と2日には、留寿都村の小学生5人が養父市を訪問。一行は、ほたるの里でのバーベキュー大会や大敷古墳群の見学、あゆ公園で鮎のつかみどりに挑戦するなど養父市の歴史や魅力を体感しました。



昭和新山を訪れたちびっ子親善使節団一行

勇壮・優雅に奉納

大杉ざんざこ踊り・若杉ざんざか踊り

伝統ある「大杉ざんざこ踊り」と「若杉ざんざか踊り」が8月16日、お盆の帰省客や観光客らが見守る中、それぞれ二宮神社と三柱神社で奉納されました。



息を合わせ勇壮に舞う大杉ざんざこ踊り

大杉ざんざこ踊りは、別名「鬼踊り」と呼ばれ、大きなシデを背中にした4人の中踊りを中心に、その周りを大きな輪を描きながら勇壮に踊ります。一方の若杉ざんざか踊りは、別名「姫踊り」と呼ばれ、色鮮やかな衣装と花笠をまとった踊り手が、ゆっくりとした優雅な舞いを披露しました。



優雅に舞う若杉ざんざか踊り